

「けやき俳句の会」会報(第百九十一回)

令和元年六月

第百九十回句会記録

★日時 六月五日

★場所 けやき学習室

★真樹先生投句

- ② 青葉翳杣人のゆくけもの道
 - ① 柿の花どの道行くも海に出る
- 道元の寺に参禅ほととぎす

- ③ 柏餅子も居ぬ家の蟠り
 - ③ 碧潭をのぞく足もとと蟻の道
 - ③ 十葉の地に憚かりて憎まれず
 - ② 楠青葉部落入口道祖神
 - ② 手のひらに乗る盆栽の若葉かな
 - ① 朝市や囁れ声つられ新キャベツ
 - ① 新緑やふと足が向く古書の街
 - ① 五月雨や読経かすむ古刹道
 - ① 夏の旅父母は居眠り子はスマホ
 - ① 夏蝶に青虫嫌と話し掛け
 - ① 畔道に佇つ白鷺や墨絵の景
 - ① 道たのし子の掌にころころだんごむし
 - ① 青田波燕飛び交う千枚田
 - ① 風薫るいつもの道が広くなり
 - ① 街角をスイと横切る燕かな
 - ① 衣更気象予報士涼やかに
- 秋雲 藍愛 東洋 真弓 藍愛 青嵐 青嵐 而今 而今 清明 清明 紀泉 蕉哉 東洋 春草 かな太

★真樹先生選句 (◎は特選)

- ◎ ③ 闊歩する白靴昭和のモゴなるや
 - ◎ ③ 蟻塚や此処に卑弥呼の国がある
 - ◎ ③ 縄文人の翡翠のピアス椎青葉
 - ◎ ② 田水引く我が細胞も潤して
 - ③ 上布着て郷土を守る神楽舞い
 - ③ 奥能登の棚田の青しあいの風
 - ② 九十九折り抜けて万緑千枚田
 - ② 朝焼けや見え初む道のほど遠し
 - ① 震災後八年道に絮たんぽ
 - ① 窓越しの日雀おひがらよろしいと
 - ① 母の墓前今日も寄り道若葉風
 - ① 白寿への坂道険し雲の峰
 - ① 母の忌や夏鶯の長鳴きす
 - ① 子育ての雉気づかいつ畑仕事
 - ① 道草の子に桑の実をお裾分け
- 香魚 隼人 春草 春草 春草 香魚 冬水 真弓 一華 青嵐 夢城 紀泉 隼人 樹音 清明 かな太

【次回開催】

★日時・令和元年七月三日(水)

★場所・けやき学習室

★提出句・兼題「義」を含め三句

★会員互選句

- ⑦ 我が町の息吹となりし青田風
 - ④ 流鏑馬の射手のまなじり新樹光
 - ③ ほろ苦き甘さも初夏の山の幸
 - ③ 泥纏い隠れ蓑とや蛙の子
 - ③ 廃校の軒に子つばめ親を待ち
- 秋雲 東洋 一華 一華 蕉哉